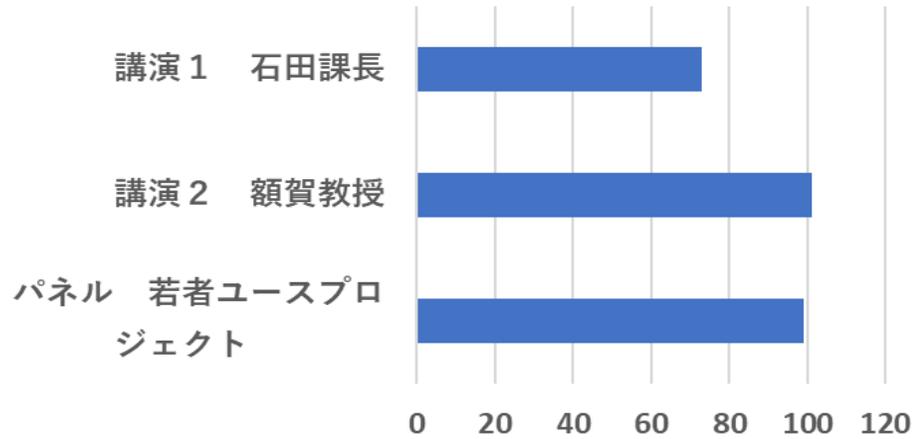
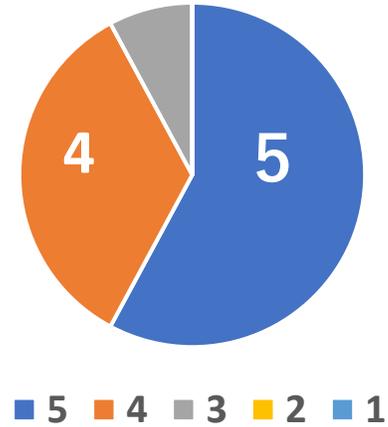


## 問1 関心のあったセッション



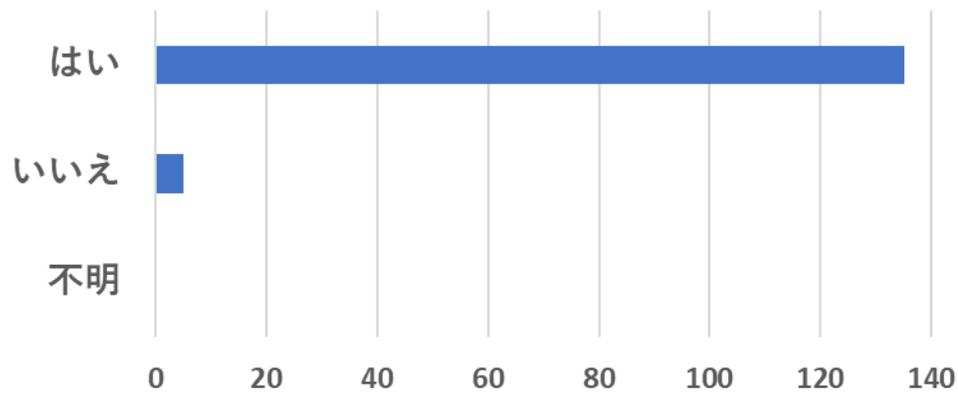
## 問2 フォーラムの満足度



評価	人数	割合
5	81	57.9%
4	48	59.3%
3	11	22.9%
2	0	
1	0	
全体	4.5	

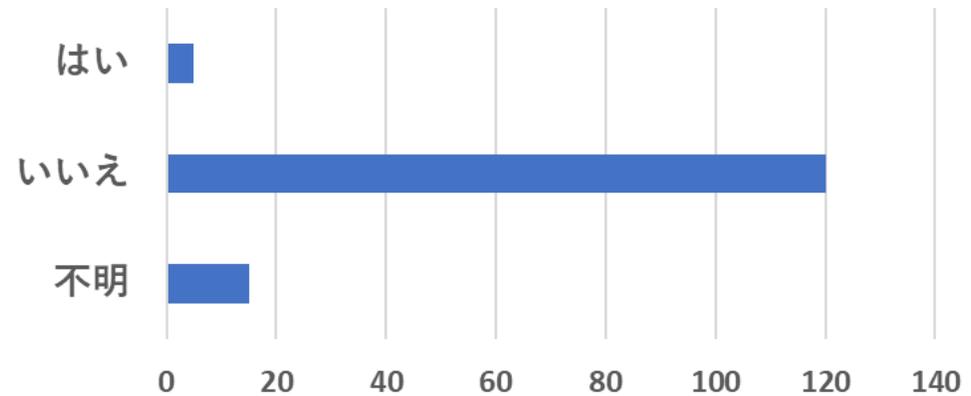
## 問3 外国につながるのがある高校生を知っていたか

はい	135
いいえ	5
不明	0



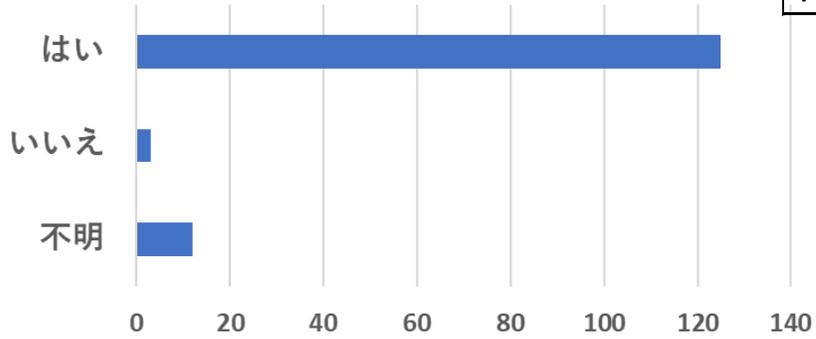
## 問4 外国につながるのがある高校生への支援は十分か

はい	5
いいえ	120
不明	15



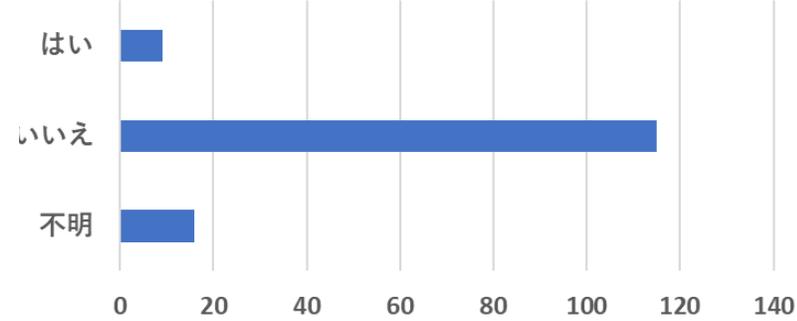
問5 外国につながりのある高校生大学生の  
就労のハンデはあるか

はい	125
いいえ	3
不明	12

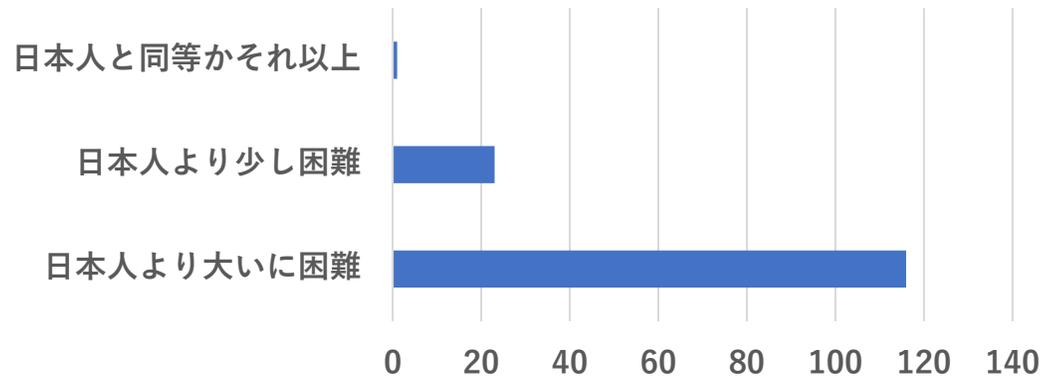


問6 外国につながりのある中学生への  
支援は十分か

はい	9
いいえ	115
不明	16

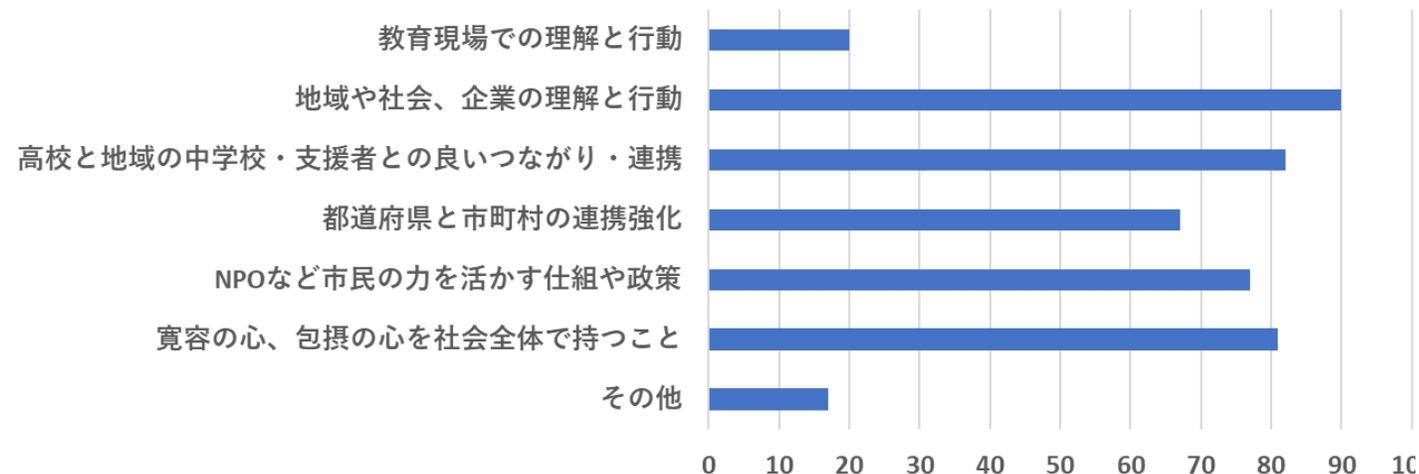


問7 日本に住む外国につながりのある  
高校生の置かれた状況



日本人と同等かそれ以上	1
日本人より少し困難	23
日本人より大いに困難	116

問8 外国につながるのある高校生の支援に必要なこと



問9 上記にて【その他】の回答「外国につながるのある高校生の支援を充実させるために必要なこと」

- 1 複文化主義・複言語主義への理解を広めること
- 2 (私自身は教員ではありませんが) 教員の待遇改善がその一つではないでしょうか。時間的、精神的、経済的その他いろいろと余裕があれば、子どもにより近いところで活動でき、よりよい方策を考え出すことができ、知識を得てそれを活かしていくことができるのではないかと思います。
- 3 進学に関する情報は子どもだけではなく、保護者にも知る機会を与える必要があると感じます。経済的な問題もあるので、できるだけ早く伝えてあげるほうが効果的だと思います。
- 4 教員免許がないと学校内での支援は難しく、日本語教育の専門性のない教員が個人的なレベルで支援していることも問題だと思います。日本語教育の専門性を多くの教育現場で理解、周知されることも支援には必要だと思います。
- 5 教員研修を充実させた方が良い。平気で差別発言する教員がまだまだ多い。新採用研修に必ず入れるべき。

問9 上記にて【その他】の回答「外国につながるのある高校生の支援を充実させるために必要なこと」

- 6 「高校と支援者との良いつながり」の1つになるのかもしれませんが、支援したい(支援できる)人と支援が必要な外国につながるのある高校生をつなげるツールや組織も必要なかと思っています。東京都のTEPROはとても良いツールだと思うのですが、実際にはあまり活用されていません。私個人としては、教員免許と日本教師の免許とを持っているので、それを活かして支援ができたかと考えていたところTEPROを紹介していただいたのですが、そこから支援につながっていくことはできませんでした。東京都の教育委員会に問合せしたこともありますが、そこからもつながることはできませんでした。今は、小学校での支援を実際にやってらっしゃる支援者の紹介で、小学校での日本語支援を行っています。需要と共有をより上手くつなげていくことも必要なことだと思います。
- 7 年に一度でもいいから県内の公園やコミュニティースペース（屋外）で外国由来の中高生やその家族、支援者、その他一般人々が集えるような仮称『多文化フェス』（大げさなものでなくてもいいので、持ち寄りパーティー的なものあるいは祖国の食べ物屋文化に触れることのできる出店などを出して集う場）ができればいいですね。思いつきですみません。
- 8 外国にルーツのある子は日本語の理解は日本人ほどできない。進路は、学校の先生の一声、励ましがあってほしい。
- 9 ほんの少しの改正でも東京都の都立高校生の支援体制や状況が大きく前進していくと思います。
- 10 高校進学・卒業・進学を保障するための制度構築、予算、教員との指導者の育成、意識改革
- 11 多文化教育をおこなうことが学校で必須のことであると、強く国から指示を出してほしい。彼らを育てることは、今後の日本の良し悪しの方向に大変影響のあることです。
- 12 日本語を標準としない教育課程（学科）を用意してはと思います。海外だと日本人学校がありますが、同じように母語を中心に教育を受けられる環境を整える。また、在留外国人の母国が経済的、教育的にも責任を持つ姿勢や具体的な支援をするように働きかける。海外をみても、自国民と外国民の環境にはどうしても差が生まれる。過度に問題視しないことも必要だと感じる。大阪との大きな違い、以前から認識しておりますが、人権尊重の理念の強弱を再認識しました。みなさま、ありがとうございました。

問9 上記にて【その他】の回答「外国につながるのある高校生の支援を充実させるために必要なこと」

- 13 全ての項目が必要ですが、大元の制度設計には自治体の行政職者の問題意識や実態把握が必要であり、さらに彼らが動くためには国の施策や動向への知識理解も前提となることを日々実感しています。私のアドバイザーとして、学校現場や県や市の教育委員会やNPOと連携して動いていますが、その労力は大きく本当に大変です。今日のご講演を伺って、文科省から直接県教育庁と市教委の管理職及び担当指導主事に説明していただくことで、行政職者に必要な前提の部分のハードルを低くすることができると思いました。担当者は担当者で国や自治体にかかわる施策について膨大な情報に溺れているところがあると思いますので、改めて今回のように口頭で説明により、基礎知識のギャップを埋められると思います。ぜひお願いしたいです。
- 14 日本政府が、在住外国人の生活実態と抱える困難を理解し、日本の将来に外国人との共生が欠かせない状況を認識すること。そうした理解と認識に立ち、舵を大きく変える行動力を持つこと
- 15 外国人枠のままの、日本での奨学金制度の充実。留学生の就労時間の緩和。公務員、医療者職受験者の国籍条項の実態としての緩和。
- 16 能力の高いサポーター及び充実した財政と制度
- 17 日本語支援をするうえで日本語教育関係者の協力は欠かせないが、日本語教育のスキルを持つ方々が教育現場に入っていくことが制度上も、お互いの認知度的にも難しいと感じている。日本語教育関係者が現場に入っていくやすい仕組みづくりが必要。
- 18 義務教育後の進学も考慮した在留資格付与要件の精査・改善(いわゆるエビデンスに基づいた「移民政策」)
- 19 外国につながるのある高校生、大学生、社会人の連携も必要だと思う。
- 20 外国につながるのある高校生が「いる」ということ自体をもっと広く日本全体で認知する事。

■全体構成について

問10 多文化フォーラムの感想(自由記載)

- 1 文科省の施策、東京都の施策、神奈川の事例、当事者の体験談と活動発信という、バランスのとれた構成で、様々な視点から外国ルーツの高校生の教育について学び、考えられる、とても意義のあるシンポジウムでした。本日のように立場の異なる方々がつながり、外国ルーツの子どもたちの教育保障ができるよう、連帯していく機会になると良いなと思いました。神奈川の当事者の若者たちの社会への発信や活動もとても素晴らしく、少しでも若者たちの活動のサポートや、より大きなネットワークづくりに尽力したいと思いました。貴重な機会を有難うございました。
- 2 外国につながる生徒たちの高校生の進路に特化した充実した内容でした。文科省の状況に沿った政策も期待したいです。額賀先生の調査は大変有意義で、各都道府県でも参考にして、取り残さない教育、進路のチャンスを考えていきたいと思いました。経験をしてきたユースが語り始め、次の世代に同じ思いをさせないと活動していることは尊重され、続いていくようサポート、応援していきたいと思います。素晴らしいシンポジウムをありがとうございました。
- 3 政策側(文科省)、研究の視点(額賀教授)、当事者の声(高橋さん、外国につながるみなさん)から課題意識をととても強くもてる契機となりました。ありがとうございました。
- 4 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 5 今日は色々な情報や意見が伺えてよかったです。またこのような機会が持てることを希望しています。
- 6 今後もこのような企画を期待しております。
- 7 全て勉強になりました。特に最後の若者の皆さんの言葉1つ1つに感動しました。ありがとうございました。
- 8 とても良いフォーラムでした。充実した内容で大満足ですが、時間が少々長く感じました。
- 9 とてもよい企画でした。多くの学びがありました。

## ■多文化ユースプロジェクト

### 問10 多文化フォーラムの感想(自由記載)

- 10 特に若者ユースプロジェクトは参考になりました。やはり、ロールモデルがあるのとないのでは、子供たちのモチベーションや、保護者のこれからの理解度など変わると思います。特に高校生の彼らは保護者の一言で人生が大きく変わってしまいます。保護者の啓発にも非常に効果的だと思いました。貴重な意見を聞け良かったです。ありがとうございました。もっと、日本人にも彼らという存在が認知され理解されればよいなと思いました。
- 11 若者ユースプロジェクトのパネスディスカッションが非常によかったです。私も山口県で外国につながるのある小中学生の支援をしていますが、将来、ここにいる子どもたちも皆さんのような立派な先輩になり、後輩を引っ張ってほしいなと思いました。大人が子どもを支援することばかり考えていましたが、縦のつながりの大切さに気付かされました。ありがとうございました。
- 12 大変勉強になりました。資料を共有していただけると幸いです。大学の教職課程で教えています。多文化ユースグループの方々のお話を学生の皆さんと共有し、ディスカッションできる場が設けられたらいいなあと思います。今後コンタクトを取らせていただきたいと思います。
- 13 多文化ユースの活動に関心がありました。全体的に拝聴出来てよかったです。東京都の様子は初めて聞きました。大阪との大きな違い、以前から認識しておりますが、人権尊重の理念の強弱を再認識しました。みなさま、ありがとうございました。
- 14 「若者ユースプロジェクト」のようなお話を初めて聞きました。支援先の高校生にもぜひ聞いてほしい内容でした。
- 15 外国につながる若者が発信できる機会、場面を作ってくださいありがとうございました。当事者の若者だけでなく、私たちサポートする側が独りよがりで一方通行の関係にならないためにも必要なことだと思います。若者たちは成長していきます。教育現場だけでなく、社会に向けてこうした機会を多く創設してくださることを期待しております。よろしくお願い致します。

問10 多文化フォーラムの感想(自由記載)

- 16 在県で行く子、別な高校に行き道を見つける子、それぞれその先を考えていくことは日本の生活で大切なことと思う。今日の多文化ユースの皆さんの話をぜひ今の（外国にルーツがある教室）でも共有し希望につなげたい。要望・オルタボイス、これから生きる皆さんのメッセージは新鮮で心に響きました。
- 17 ユースプロジェクトの方々、出演してくれてありがとうございました。生の意見で、とてもよかったです。仲間と一緒に未来へ挑戦する姿を心から応援します。いっしょに子どもたちを支えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。
- 18 大変有意義でした。ありがとうございました。特に多文化ユースプロジェクトの皆さんの話が聞けてとても良かったと思います。
- 19 今回のフォーラムも、大変中身の濃い勉強になりました。ありがとうございました。額賀教授の調査が、東京都の取り組みの加速につながることを期待しております。また、神奈川の若者たちの話は、多くの人に届けたいと思いました。誰もが制約なしに夢に向かって頑張れる社会を実現するのが、我々大人の果たす役割と思います。
- 20 第3部の若者の話がとても良かったです。彼らの何人かの高校時代を知っていますが、本当にしっかり成長してくれたなと思います。ただ、このようにはならなかった（今でも不本意な生活を送っている）若者もたくさんいると思うので、社会としての課題はたくさんあると思います。「日本に来たくなかったのに」「日本語がなぜ必要なの？」と思う若者の言葉にはドキッとしました。日本への来方（何歳で来たのか、学校にはすんなり受け入れられたのか等々）によって、それぞれの歩みも違ってくるのだと感じました。
- 21 若者ユースプロジェクトで卒業生がたくましくそだっていて、しかも後輩のために役立ちたいとかがえている様子に感銘を受けた。立派なロールモデルとなっていると思った
- 22 支援する若者たちの自分の子供時代の声、自分自身の今抱えている問題点などリアルな声、インパクトがありました。このセッションが冒頭にあれば、講演の意味がもう少し深く理解できただろうと思いました。

■ 全般

問10 多文化フォーラムの感想(自由記載)

- 23 今回のフォーラムの開催に関係した全ての方々に、貴重な話をしていただいたこと／お聞きする機会をつくってくださったこと、深く感謝申し上げます。振り返れば、行政、都道府県単位、コミュニティ単位からのお話をお聞きできたと分かり、かつ、それぞれの方々のお話から、その全ての単位からの満遍ない協力が必要であると分かり、改めて今日参加してくださった全ての方々のお話をお聞き出来て良かったと思いました。私は外語大の学生であり、かつ外国につながるのがある生徒のためのコミュニティを立ち上げようとしている者であるため、様々な立場からのお話はとても参考になりました。改めまして、本日は本当にありがとうございました。
- 24 今回、当事者の方がほとんどすべて発言してくださいました。この発言を全国の教育委員会の方、さらに、特に文科省、自治省の方は真摯に受け止める必要があると思います。（法務省の方も）
- 25 母語、母文化継承も大切と考えますが、実際日本に暮らしているの方々にとってはなかなか余裕がないのかもしれない。「外国につながっている」ことが強みである、とご本人も、日本に住む私（たち）も実感できる社会にしたいと思いました。たいへん勉強になりました。
- 26 今年の春から日本語学習コーディネーターとしての仕事を始めたのですが、高校進学や大学、就職などについての知識が足りなくて、本日のフォーラムに参加させていただきました。参考になるお話がたくさん聞くことができて良かったです。どうもありがとうございました。
- 27 とてもよい時間を過ごしました。「過ごしました」などと書くと傍観的ですが、「傍観」よりも少しは強い関心を持っておりました。調査とお話の具体性がとても豊富なこのシンポのおかげで、この機会がとても貴重なものとなりました。ありがとうございます。
- 28 政策的な全体像から当事者の声まで、包括的に扱ったとても内容の濃いプログラムでした。また、このような機会を定期的に設けていただけますよう、お願いいたします。
- 29 大変内容の濃いフォーラムだったと思います。ありがとうございました。

問10 多文化フォーラムの感想(自由記載)

- 30 すべてのグローバル化に向かう世界情勢の中、人口減少の傾向が明らかなこれからの日本の行く末を考えると、外国人、外国にルーツを持つ人との共生を含めた国際化は不可欠だが、まだまだ日本人が海外に出ていくことに関心が偏在している。まずは急速に進んでいる国内での多文化共生をより有意義にするために、次世代を担う年齢層への取り組みが重要と感じた。特に、東京都はルーツ国や在留経緯の多様性で特殊な環境に置かれているとは思いますが、一つ一つ段階的に取り組み、数十年後にも世界から魅力を感じてもらえる、多文化共生社会が成熟した都市となるよう各機関が連携しないといけないとあらためて意を強くした。貴重な機会を設けて頂き、ありがとうございました。
- 31 外国につながる人たちが活躍できる地域をつくっていくためには、多文化共生に共感する日本人が増えることが必要と思いました。
- 32 まず知ることが大切で、その知ったことをまだ関心のない人へ伝えること（知ってもらうこと）が必要だと思います。私は、成人への日本語教師を経て、現在、外国につながる児童へ日本語指導をしています。日々、子どもたちと触れ合ううちに、「外国とつながりのある」が外れ、彼らとは「〇〇さん」として接しています。彼らの困り感も自分ごととして考えるようになりました。教育現場は、日本人だけの世界ではなくなりつつあり、学校の先生方も「困っている」のだと思います。でも、「困る」ことは、スタートだと思います。教育現場が、変化するチャンスだと思うのです。今日、国の方向性や東京都の現状、当事者の若者の声を聴くことができました。私も自分ごととして、できることを少しずつ始めたいと思います。
- 33 東京の調査の精度があまり高くなく、現状を正確に把握できていないのが残念。外国につながる生徒の把握は、日々の指導や支援に不可欠であるため、もっと正確に知る必要がある。通訳を子どもが担うことは、最近問題となっているヤングケアラーに定義つけられており、対応策が求められる。
- 34 教育視点だけではなく福祉視点での教育や生活の支援の検討が必要だと感じました。
- 35 いろいろ考えさせられる機会となりまして、よかったですと思います。

問10 多文化フォーラムの感想(自由記載)

- 36 ありがとうございます。都立高校の教員です神奈川の先進的な活動に、東京も少しでも近づけるよう、頑張りたいと改めておもいました。先輩のネットワーク作り素晴らしいです。町田市国際交流センターで子ども教室をやっているの、ボランティアにも是非見て欲しいと思います。
- 37 こういった日本の社会課題があることを、専門家の方から分かりやすくご説明いただくとともに、実際の当事者の声や考え方を聞く事ができ、とても勉強になりました。これは日本の教育の課題でもあり、社会全体で取り組む課題であることがよく理解できました。学校現場だけでなく、地域や社会で支えていくことが大切だと思います。
- 38 東京都以外の地方自治体の状況をもっと調査が必要だと思います。
- 39 フィリピンから来たばかりの中学生の取り出し授業をやったことがあるのですが、課題だらけで結局中途半端に中止になってしまい、今誰がどう支援しているかわからない状況です。もう少し彼らの進学やサポートについて知っておけばよかったという思いで参加しました。次に機会があったらもう少し力になってあげられるだろうか、と考えています。
- 40 とても有意義なフォーラムありがとうございました。私自身も小学校で日本語指導員として携わってきました。外国につながる成人の方々がこうして子どもたちのために力を注いでいらっしゃることに大きな勇気をもらいました。額賀先生の資料のURLを再度教えていただけたらありがたいのですが、どうしたら良いでしょうか。よろしくお願いいたします。
- 41 日本の文化・潜在的認識をオープンなものに変えていかないといけないと感じました。
- 42 「高校と支援者との良いつながり」の1つになるのかもしれませんが、支援したい(支援できる)人と支援が必要な外国につながるのがある高校生をつなげるツールや組織も必要なのかと思っています。東京都のTEPROはとても良いツールだと思うのですが、実際にはあまり活用されていません。私個人としては、教員免許と日本教師の免許とを持っているので、それを活かして支援ができたかと考えていたところTEPROを紹介していただいたのですが、そこから支援につながっていくことはできませんでした。東京都の教育委員会に問合せしたこともありますが、そこからもつながることはできませんでした。今は、小学校での支援を実際にやってらっしゃる支援者の紹介で、小学校での日本語支援を行っています。需要と共有をより上手くつなげていくことも必要なことだと思います。

問10 多文化フォーラムの感想(自由記載)

- 43 日本語教育や就学・進学保障が着実に改善していく途上にあることが感じられ、（まだまだ道は長いとしても）行政の動きや、実践的な調査研究の進展に希望を感じました。また、若者達のそれぞれの言葉にもとても力を感じました。そのうえでの単なる感想ですが、多くの方々の1.5世の子ども・若者を対象にした場合、まず何よりも言語や社会生活上の「支援」が現時点での課題だということは正当なことだと思います（同等の階層のマジョリティ日本人家庭とは異なる、そしてより資源を優先的に配置した「支援」が必要だと思います）。ただ、マジョリティを主な対象とした反差別の推進にももう少し重点が置かれる必要があるのではないかと思います。1.5世の困難も、問題が日本社会の側のあり方にあるという側面はあるし、2世以降になるとさらに、問題は一部の日本人にある偏見・差別的行為や日本社会の構造的な差別が大きいです。「母語・母文化のとりくみ」ではなく（それとは別に）、反差別の「多文化共生」のとりくみの重要性についてももう少し専門家、現場の実践家、行政の方々の関心や資源の対象とできないものでしょうか。現状でそれがあまり必要なく感じられるのも、「反差別」ということが含みうる内容への我々の理解が狭く痩せているからかもしれません。最後の座談会の話の流れの中で、日本人にはアイデンティティがあまりないというようなご発言がありましたが、「帰れ」という差別的な発言やまなざしがマイノリティに注がれるのは、日本人の日本人意識の内実によるものなのではないでしょうか。（今日の本題からは話がそれてしまい申し訳ありません。今日のご講演と座談会が聞けてとても良かったです。ありがとうございました。）
- 44 日本語教育や就学・進学保障が着実に改善していく途上にあることが感じられ、（まだまだ道は長いとしても）行政の動きや、実践的な調査研究の進展に希望を感じました。また、若者達のそれぞれの言葉にもとても力を感じました。そのうえでの単なる感想ですが、多くの方々の1.5世の子ども・若者を対象にした場合、まず何よりも言語や社会生活上の「支援」が現時点での課題だということは正当なことだと思います（同等の階層のマジョリティ日本人家庭とは異なる、そしてより資源を優先的に配置した「支援」が必要だと思います）。ただ、マジョリティを主な対象とした反差別の推進にももう少し重点が置かれる必要があるのではないかと思います。1.5世の困難も、問題が日本社会の側のあり方にあるという側面はあるし、2世以降になるとさらに、問題は一部の日本人にある偏見・差別的行為や日本社会の構造的な差別が大きいです。「母語・母文化のとりくみ」ではなく（それとは別に）、反差別の「多文化共生」のとりくみの重要性についてももう少し専門家、現場の実践家、行政の方々の関心や資源の対象とできないものでしょうか。→次頁

## 問10 多文化フォーラムの感想(自由記載)

現状でそれがあまり必要なく感じられるのも、「反差別」ということが含みうる内容への我々の理解が狭く瘦せているからかもしれません。最後の座談会の話の流れの中で、日本人にはアイデンティティがあまりないというようなご発言がありました。が、「帰れ」という差別的な発言やまなざしがマイノリティに注がれるのは、日本人の日本人意識の内実によるものなのではないでしょうか。（今日の本題からは話がそれてしまい申し訳ありません。今日のご講演と座談会が聞けてとても良かったです。ありがとうございました。）

- 45 埼玉県の中学校、高校で面談等の通訳をしている者です。神奈川や東京では様々な取り組みがなされていることがわかりました。埼玉では中学や高校で通訳を探すことや、謝礼を払うことが難しいようなので（中学は完全無給、高校は数千円で対応してきました）、通訳を派遣する制度を全国的に整えていただけたらと思います。私が通訳している言語は通訳が少ない言語で、埼玉でも探すのが難しかったようで、地方に行くほど通訳を探すのが困難とされます。オンラインでも面談ができることもあるので、全国的に使える制度にするのが良いと思います。（私の通訳している言語は外語大の専攻にない言語ですが）、外語大等と連携して、人材が円滑に見つかり、きちんと謝礼を払う体制を整える必要があると思います。生徒自身の日本語も含めた学習全般へ意欲、能力の低さや、親や生徒が通訳に任せきりで自ら動かないということ、一部の中高、日本語教室の先生も通訳に仕事を投げられてしまわれるということについては、今日も少し話が出ましたが、日々感じております。実質通訳がコーディネイターの仕事をしているような状態ですが、埼玉ではコーディネイターとして働いている人がいるという話を聞いたことがありません。全国的に制度を整備していく必要があるように思います。今日の話にありました通り、私が通訳をしている生徒の親の学歴が高卒以下の方が多く、小学校中退、非識字という方も一部いて、子供も高校生の年齢で九九ができないなど基礎学力がなく、面談では通訳が訳して書類を書いてくれるから自分がやらなければという気持ちがないようです。高校中退を避け、できる限り進学させたいという気持ちはありサポートしてきましたが、母国にいても進学が難しいような基礎学力のない生徒が、外国である日本で進学、就職するのは無理なのではないかと高校の教員も通訳も限界を感じています。高校中退して仕事に就くのも難しく、チャイニーズドラゴンのような半グレになってしまうと困るので、帰国するという選択肢を示すというのが現実的かと思えます。実際入管はそういう判断もしているようです。後半のセッションで登場された大卒の方々のような成功事例もよいのですが、現実を踏まえた事例を取り上げてよいように思います。